

	牧師 山本護	司式 平尾文子	奏楽 山本恵美
前 奏	黙想		祈 禱
讃 美 歌	66 聖なる、聖なる、聖なるかな		讃 美 歌 97 朝日はのぼりて
祈 禱			献 金
信仰告白	使徒信条 566		讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
聖 書	エレミヤ書 31:15~16 ルカによる福音書 1:31~38		黙 禱 主の祈り 564
讃 美 歌	II-124 マリヤはあゆみぬ		頌 栄 540 あめつちこぞりて
説 教	『なぜマリヤが選ばれたのか』		祝 禱 後 奏

天使ガブリエルは、洗礼者ヨハネの父ザカリアに現われ、半年後マリヤに現われて言った。「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる(ルカ 1:28)」。天使の出現は驚愕するものだが(1:12)、マリヤは割合平気で、天使の言葉を考え込んだ(1:29)。続けて天使は言う。「あなたは身ごもって男の子を産むが、その子をイエスと名付けなさい(1:31)」。マリヤは「そんなことはありえない(1:34)」と応じる。すると天使は「聖霊があなたに降り～生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれる(1:35)」と、いっそう「ありえない」ことを告げた。マリヤは無学で素朴な田舎少女だが、案外肝が据わっている。

天使は最後に「神にできないことは何一つない(1:37)」と念を押すと、マリヤは「お言葉どおり、この身に成りますように(1:38)」と応じた。「神にできないことはない」、「そりゃそうだ」と納得したわけではない。何か大変なことが自分に起る、と予感しながら心を開き、神の祝福を己が身に受けた。

「おめでとう、恵まれた方(1:28)」と天使は言うが、その後マリヤに起こる何が恵みなのか。イエスの誕生後、神殿へ聖別されに行く(2:22~23)、老シメオンが祝福と共に「あなた自身も剣で心を刺し貫かれる。多くの人の心にある思いがあらわにされるために(2:35)」と告げる。幼子がやがて負う十字架を預言しているのか。あるいは「多くの人の思い」とは、降誕の際の膨大な男児殺害(マタイ 2:16)の記憶なのか。いずれにせよ神の子の降誕には、「おめでとう」とは到底言い難い惨劇が伴う。

「主はこう言われる。ラマで声が聞こえる。苦悩に満ちて嘆き、泣く声。ラケルが息子たちのゆえに泣いている。彼女は慰めを拒む。息子たちはもういないのだから(エレミヤ 31:15)」。この預言は、上記した男児殺害事件と結びつけられている(マタイ 2:17~18)。預言の結果はこうだ。「主はこう言われる。泣きやむがよい。目から涙をぬぐいなさい。あなたの苦しみは報いられる、と主は言われる。息子たちは敵の国から帰って来る(エレミヤ 31:16)」。そりゃ敵国バビロンからの帰還ならありえよう。しかし関連づけられた男児らの「死」と、母たちの嘆きに救いはあるのか。ある、マリヤと共にある、と思う。

「聖霊があなたに降り～生まれる子は～神の子(ルカ 1:35)」という天使の言葉。その後のことを想定すると単純に「おめでとう(1:28)」とは思えない。だがマリヤは分らないまま、それを身に負った(1:38)。救いの主の母は、なぜマリヤなのか。福音書の記述から推察してみよう。貧しい庶民、知恵も知識も、秀でた能力もないマリヤ。ただ天使に出会っても怯えない度胸と、未知に心開く柔らかさはあった。要するに、優れた資格などまるでない田舎少女のマリヤが、救い主イエスの母に選ばれたのだ。

「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように(1:38)」とマリヤが答えると天使は去った。ここには夫となるヨセフの気配がまったくない。まさしくそうなのだ。頼りにする男も家もなく、見通しも保障もなく、経験も能力も何一つない。だが捨て鉢ではない。マリヤは自分に起ころうとしている一大事を理解しないまま、「インマヌエル=神は我々と共におられる(マタイ 1:23)」ことを頼みとした。何と潔い、何と素朴な信仰であろうか。私たちの日々もこうありたい。マリヤのように世の権威や価値、生と死から自由になり、神が永遠に共にいて下さる恵みを、道の光としたい。

一人で生まれ 一人で召されていくように そこにヨセフの姿はなかった ただ神が共におられたマリヤにはそれが頼み 寂しい人情であっても全き自由には換え難い 貧しきマリヤ 人間の手本

本日礼拝後は役員会、トーンチャムの練習もあります。コナが拡大中なため教会カフェはしばらく休店。

牧師の動き:12/5(月)YMCAで聖書のお話し。12/8(木)山梨英和中高同窓会のクリスマス礼拝で説教その他。

礼拝堂・集会所の住所:408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ:408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。